



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1818号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢野 敏夫 幹事 西本 和夫



広重版画より 三島 朝霧

第1880回例会

2011.4.7晴

司 会

石井良衛君

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

会長 矢野敏夫君

皆様こんにちは。東日本大震災が起きてもうすぐ1ヶ月になろうとしていますが、被災規模が大きすぎて、また福島原発事故も重なるなどして、依然として復旧作業が余り進んでいないようです。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

3月20日の台湾苗栗ロータリークラブ創立40周年記念式典の際に、苗栗ロータリークラブ及び苗栗東南ロータリークラブなどから多額の義援金を託されたので、静岡新聞社に届けてきたこと、4月2日の朝刊に記載されたので御覧になった方も多いかと思えます。この記念式典の様子等は、来週交換中学生の報告会がありますので、その時もう少し詳しくお話したいと思います。

さて春本番となる4月となりました。4月は一般社会では新年度が始まる月ですが、ロータリーの年度初めは7月です。ただ実際には既に3月にベッツ(会長・幹事エレクト研修セミナー)があり、この4月には地区協議会が決定されていて、次年度の会長・幹事にとっては準備段階の忙しい季節になります。そして次年度の各委員長にとっても、委員会の事業計画案・予算案を作成する準備に入る時となります。更に次年度は当クラブ創立40周年にも当たるので、次年度の理事・役員・委員長の皆様は、次年度の会長・幹事とはいつでも連絡が取れるよう、常に準備していて欲しいと思います。

今月は「雑誌月間」です。日本ではR I から承認されて

公式地域雑誌となっている「ロータリーの友」を購読することが義務付けられています。この月刊は雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及をはかることを目的としています。ロータリアンにとって究極の教材でもあり、また知識の宝庫であるといわれている「ロータリーの友」を皆様方も是非活用して欲しいと思います。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	41/50	82.00%	47/50	94.00%
今回	45/50	90.00%	会員総数	52名

欠席者 亥角君、窪田君、鈴木(郁)君、諏訪部(敏)君、橋本君

幹事報告

幹事 西本和夫君

- ① 苗栗ロータリークラブと東南ロータリーよりお預かりしてきました東日本大地震災害地区に対する義援金 51,800円を静岡新聞社に届けてきました。☑
- ② 三島ロータリークラブの山岡敏夫さんをご逝去されました。

2010～2011年度
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

地域を育み、大陸をつなぐ

おめでとう

会員誕生日 渡辺君、土屋君
入会記念日 川真田君、遠藤(武)君、松坂君、
澤村君、石井(良)君、米山君、
北澤君
奥様誕生日 柳田君、瀬川君、渡辺君、土屋君
結婚記念日 平野君、遠藤(武)君、平出君、
柳田君

スマイルボックス

- ◆伊豆中央RC・紀平君、いつもお世話になります。
- ◆米山君、3月31日に長女に女の子が生まれました。私もようやく『じーじ』の仲間入りが出来ました。
- ◆野口君、孫の湧太が「中学生交換研修」に参加させていただきました。姉妹クラブ関本委員長さんはじめ遠藤さん、参加者の皆さん大変お世話になりました。お陰様で孫も一回り成長したように思いました。有難うございました。
- ◆矢野君・関本(照)君・遠藤(眞)君・平野君・西本君・佐野君・森崎君・鈴木(正二)君・遠藤(正)君、苗栗扶輪社創立40周年に参加してきました。おかしな農兵節を披露してきました。合わせて実施された第25回目の交換研修で8名の中学生を引率してきました。来週は、成長した中学生が感想文を持ってきます。震災後の訪問で最少人数の参加でしたが、苗栗RC及び苗栗東南RCそしてその友人より義援金をいただき、合わせてお悔やみや、お見舞いのことをいただいております。会員各位の努力で両クラブの交流と交換研修事業が末永く継続することを祈念します。
- ◆石井(彰)君、桜が満開の季節となりました。この季節にめでたく長男と長女が新社会人としてスタートしました。この厳しい就職難の時代に希望の企業に就職できたことを親として本当に嬉しく思います。なお、自宅を新しく建設するのに先月、千葉さんの会社と契約をしました。安心して任せられるので完成が楽しみです。千葉さん宜しくお願いいたします。
- ◆田熊君、春がやってまいりましたネ。
- ◆関本(文)君、①花房さん、過日は大変お世話になりありがとうございました。②亥角さん、伊丹さん、佐々木さん、貴船神社奉賛会入会ありがとうございました。「水の価値、原発事故で見直され」他の人も如何ですか。
- ◆石井(良)君、先月29日Aテーブル会を開催いたしました。原発の話から木炭自動車の話まで、とてもサイエンスな会となりました。会場を急遽提供いただいた伊丹さんありがとうございました。
- ◆鈴木(正二)君、来週の土曜日16日は何の日か覚えていらっしゃいますか？沼津文化センターで明大マンドリン倶楽部の定期演奏会の日です。是非お出かけ下さい。チケット、詳細は鈴木正二までお声掛け下さい。

卓話

ロータリー雑誌について

柳田英雄君

1952(昭和27)年4月、第60地区の大会が開催されました。7月に迎える新年度(1952—53年度)から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されていまして、主催者も参加者も、ともに深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その1つに、日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有化するための機関誌として、企画されたのです。新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953(昭和28)年1月から、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定しました。その後、1年間の試験期間を経て、国際ロータリー公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件の1つに、「毎年、年度の始まる7月号には、「国際ロータリー(RI)会長の写真を掲載する」ということがあります。試験期間の始まった1979年の7月号が、RI会長の写真を表紙に掲載した最初です。(ロータリーの友・2003年1月号から)

理事会

承認事項

- ①東日本大地震災害地区に対する義援金100万円を特別会計より捻出。☑
- ②5月15日の親睦家族例会を5月19日(木)、通常例会に変更☑
- ③6月16日の例会を6月19日(日)、三島市の清掃作業に変更☑

4月の日程☑

- ①4月7日☑ロータリー雑誌について
クラブ広報委員長 柳田英雄君☑
- ②4月14日☑親睦例会 交換中学生報告会☑
- ③4月21日☑卓話 勝間田信輔君☑
- ④4月17日☑地区協議会 ☑
- ⑤4月28日☑地区協議会報告 米山寛副会長☑
卓話 亥角裕巳君

(週報担当：柳田英雄)